

第17回 技術講演会資料

平成26年9月29日

- 主催：NPO法人大分県コンクリート診断士会
共催：大分県補修・補強協会
(公財)大分県建設技術センター
- 協賛：大分県建設補修事業協同組合
(一社)大分県建設業協会
(一社)大分県測量設計コンサルタント協会
(公社)日本技術士会九州本部大分県支部
- 後援：(公社)大分県建築士会 (一社)大分県建築士事務所協会
(一社)日本建築学会九州支部大分支所 大分県法面協会
大分県生コンクリート工業組合 大分県コンクリート製品協同組合
大分県地質調査業協会 NPO 法人環境保全技術研究所

目 次

1. 理事長挨拶

2. 「大分県の国土強靱化について」 13:15～14:50
内閣官房参与
京都大学大学院 教授
藤 井 聡 氏

3. 「パネルディスカッション」 15:00～17:00
パネラー
内閣官房参与 京都大学大学院 教授 藤 井 聡 氏
国土交通省大分河川事務所 所長 稲 田 亮 氏
国土交通省佐伯河川国道事務所 所長 菅 伊佐男 氏
公益財団法人大分県建設技術センター 理事長 畔 津 義 彦 氏
NPO 法人大分県コンクリート診断士会 理事長 佐 藤 嘉 昭 氏
コーディネーター
NPO 法人大分県コンクリート診断士会 理事 財 津 公 明 氏

4. 会員名簿

5. 過去の技術講演会

※ 喫煙は指定の場所にてお願いいたします。

理事長挨拶

NPO法人大分県コンクリート診断士会

理事長 佐藤 嘉昭

「NPO法人大分県コンクリート診断士会」が設立されて今年で9年目を迎えます。当診断士会では、これまでコンクリート建造物の維持管理をテーマにした一般公開の技術講演会を開催して参りました。今回は大分県補修・補強協会と（公財）大分県建設技術センターとの共催で、また、大分県建設補修事業協同組合、（一社）大分県建設業協会、（一社）大分県測量設計コンサルタンツ協会、（公社）日本技術士会九州本部大分県支部からの協賛、そして多くの団体から後援をいただき、本講演会を開催するに至りました。

今回の技術講演会では初めての試みとして、基調講演とそれを受けてのパネルディスカッションというプログラムにしました。基調講演の講師には内閣官房参与で京都大学大学院工学研究科教授の藤井聡先生をお招きして「国土強靱化における大分の役割」と題した講演をお願いしました。藤井先生は皆様よくご存知のように、「東日本復活5年計画」と「列島強靱化10年計画」を骨子とした「日本復興計画」を緊急提案され、自民党の「国土強靱化基本法案」の元となった列島強靱化論を持論とされています。プログラムの後半では、その基調講演を受けて「大分県の国土強靱化について」と題してパネルディスカッションを行うことにしました。藤井先生にも参加して頂いて、国土交通省大分河川国道事務所所長の稲田亮氏、国土交通省佐伯河川国道事務所所長の菅伊佐男氏、公益財団法人大分県建設技術センター理事長の畔津義彦氏をパネラーとしてお迎えし、「国土強靱化計画」における大分県の関わり方の現状や将来に関して議論を交わして頂きます。多くの社会インフラの老朽化が進んでおり、昨今は異常気象による土砂災害など、今まで経験したことのないような大きな被害を受けることが多くなっています。これらのことが契機となって、そして、近まりつつある大地震の発生に備えて「安全で安心な暮らし」ということが真剣に議論されるようになってきました。社会インフラの整備は焦眉の急で、このパネルディスカッションでは地域単位における強靱化計画の必要性とそれを民間企業などがどう活用すべきかについての具体的なヒントが得られることを期待しています。

本日の技術講演会は、県内ではなかなか聴講することができない最新の情報を得ることのできる絶好の機会であることを確信しています。「NPO法人大分県コンクリート診断士会」では、今後も技術者の技術力の向上を目的とした講習会や講演会を定期的に開催していくことにしていますが、大分県並びに県内市町村、また、関連するNPO法人やその他機関の方々とは一層の連携を深めながら活動を推進してまいりたいと存じますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2014年9月29日

国土強靱化における大分の役割

京都大学大学院 教授（内閣官房参与）

藤 井 聡

1. 国土強靱化の考え方

- ・「**最上位計画**」となる「国土強靱化基本計画」（閣議決定）
（他の計画を、この基本計画の理念の下「改定」していく！）
- ・全省庁が参画（経済産業、インフラ、農水、放送、エネルギー等）
 - ステップ1：「脆弱性評価」＝最悪事態を想定（45個）
 - ステップ2：「最悪事態を回避するプログラム」（45個）を全分野協調で策定
 - ステップ3：「分野別計画」を策定（12個）

2. 国土強靱化における地方（大分）の役割

- ・自律・分散・協調型国土の形成
- ・東京一極集中の緩和

3. 「大分強靱化」に向けて

- ・「地域強靱化計画」と「防災計画」の違い。
 - － 防災計画の対象はリスク、強靱化計画の対象は「地域」
 - － 平時の取り組み（経済・産業）を強靱化（＝平時に有事を溶かしこんで行く）
 - － 「地域強靱化計画ガイドライン」を参照されたい！
- ・「**地域強靱化**」が、**地域の経済成長／発展を導く**
（リスクを見据えつつ、そうなるように進めるのが、地域強靱化）

以上